

これまでの有料化制度の 検討経緯について



年	内容
平成11年	◆12月定例会月議会にて家庭ごみの有料化について議論
平成15年	◆粗大ごみ80品目の有料戸別収集を開始
平成17年	◆国が有料化を推進する基本方針を示す
平成19年	◆国が有料化導入に向けたガイドラインを策定
平成22年	◆金沢市ごみ処理基本計画（第4期）策定 【検討事項】「ごみ有料化などごみの排出抑制に向けた新たな仕組みの構築」
平成27年	◆金沢市ごみ処理基本計画（第5期）策定 【施策】「家庭ごみ有料化の導入を検討」

1

これまで、生ごみの減量、古紙などの資源回収、環境教育など、様々な施策に取り組んできたが・・・

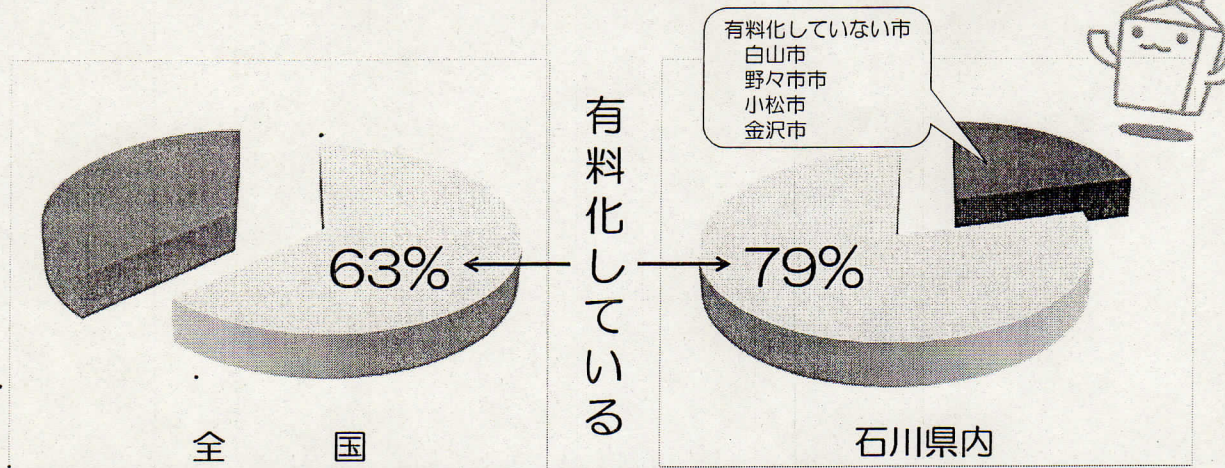


- ・近年、家庭ごみ量の推移は、ほぼ横ばい
- ・資源化率が上がらない

家庭ごみ有料化制度（インセンティブ）

2

有料化を導入している自治体割合



2000年度以降有料化を導入した自治体の5年目の実績（平均）

- ごみの減量 → 約14%減
- 資源化率の向上 → 約6%増

3

家庭ごみを有料化する目的

- ① ごみの減量
- ② 資源化率の向上
- ③ 費用負担の公平性の確保
- ④ ごみ処理経費の削減
- ⑤ 生産者の過剰包装等に対する意識の改革
- ⑥ 将来世代の負担軽減

4

手数料収入の用途

- 町会等への支援を強化
 - ・古紙集団回収奨励金を増額
 - ・資源ごみ回収奨励金を増額
 - ・ごみステーション設置機材購入補助制度を創設
 - ・町会防犯灯をLED照明に更新し維持費を軽減
- 環境負荷の低減施策を充実

※通常のごみ処理経費には使用しません

など



5

不適正排出対策

- ごみステーションパトロール強化
- 不適正排出者へのごみ出し指導
- パンフレット（家庭ごみ分け方・出し方）の全戸配布
- 違反ごみで費用負担が発生する場合のボランティア清掃
ごみ袋の活用

など

不法投棄対策

- 廃棄物対策推進員や金沢市不法投棄防止ネットワークとの連携を強化
- 啓発看板や監視カメラを増設

など

